

2011年3月14日

職員のみなさんへ

東日本大震災への生協ひろしまの対応について

専務理事 横山 弘 成

生協ひろしまを代表して、この度の東日本大震災で不幸にも亡くなられた被災者のみなさまに哀悼の意を表するとともに、負傷者のみなさまには心よりお見舞いを申し上げます。また、今現在も厳しい寒さの中、行方不明になられている被災者のみなさまの一刻一秒でも速い救助をお祈り申し上げます。

すでに新聞やテレビ等で報道されているとおり、3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方、関東地方の広範囲にわたり甚大な被害をもたらしています。警察庁のまとめでは、3月14日正午現在で死者は、宮城県で643人、岩手県で531人など、計1647人、行方不明者は1720人、負傷者は1990人にのぼり、今後も日を追って被災者が増加するとの報道がされています。

東日本大震災は、これまで日本が経験したことのない未曾有の大惨事となり、東北・関東地方の多くの生協に甚大な被害をもたらしていることから、生協ひろしまとして、「日生協及び、行政からの要請に基づいて可能なかぎりの人的支援、物的支援をとおして、被災者及び、被災生協の支援をおこなうこと」を災害支援方針として組織をあげて支援活動に取り組んでいくことを決定しました。

生協ひろしまでは、東日本大震災の発生の報を受け、3月11日に関東以東へ出張者の安全確認を行うと共に、職員のご家族で行方不明となられている方の情報収集の案内を行いました。3月12日には、たべるたいせつフェスティバル会場で支援募金の呼びかけを行うと共に、各店舗でも支援募金を開始し、無店舗では3月14日よりOCRでの受付を開始しました。

本日、災害支援方針を具体化するため「東日本大震災支援本部」を設置し、同日開催した第1回 災害支援本部会議にて、日本生協連からの要請に基づいて、一両日中に準備が整い次第、職員10名からなる支援隊を日生協桶川DC(埼玉県桶川市)に派遣することを決定しました。支援隊は、トラック5台に分乗し、生協ひろしまからの支援物資を届け、桶川DCを拠点として各被災地への支援物資の搬送などを担います。

[第1回 災害支援本部会議でのその他の決定事項]

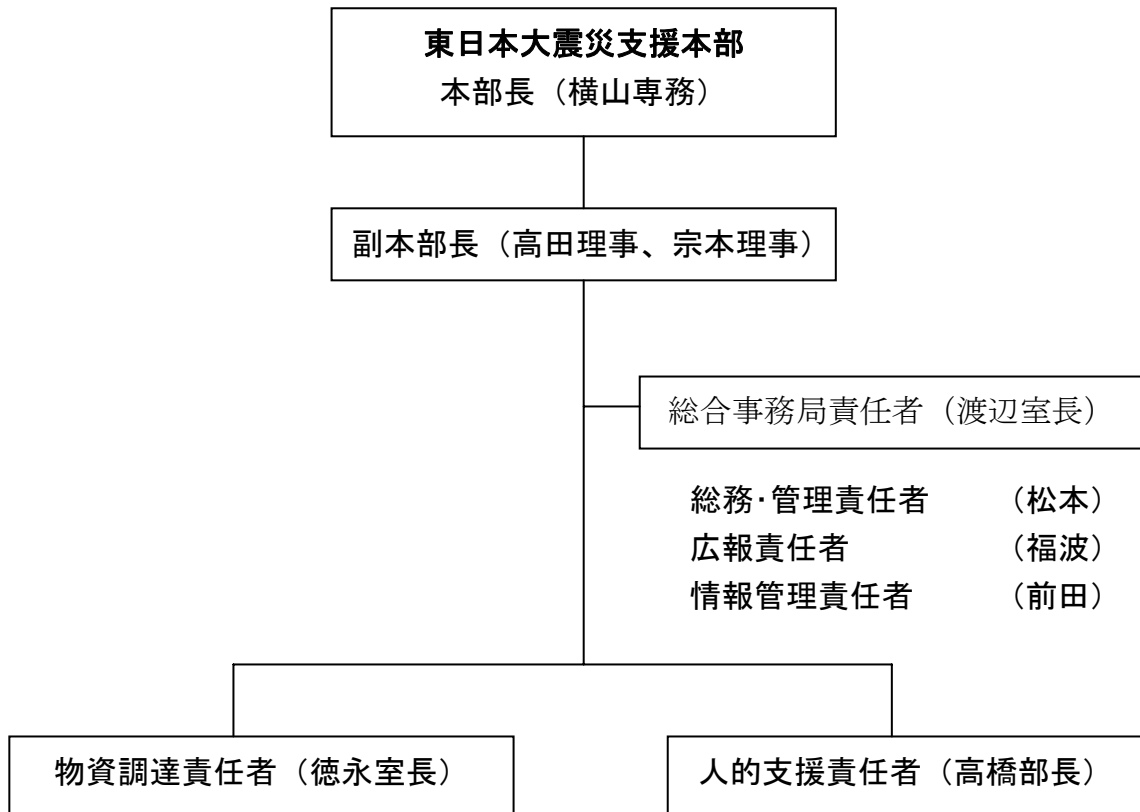
- ① 関東以東へ出張の自粛すること。
- ② 被災地での通信資源確保のため不要・不急の通信を自粛すること。
- ③ 節電への協力を組合員に呼びかけること。
- ④ 支援募金の組合員への呼びかけ、職員も積極的に行うこと。

今後、生協ひろしまでの供給事業においても大震災の影響で欠品等が増えてくるのが想定されます。組合員のみなさまへの一層の丁寧な対応をお願いします。

生協ひろしまの全役職員が一丸となり生協ひろしまの事業活動の維持、発展は、もちろんのこと被災生協及び、被災者のみなさまへもより多くの支援ができるよう生協ひろしま全体で最大限の取組みを行っていきましょう。

以 上

[支援本部の体制と役割分担]



- (1) 支援本部長は、災害支援に関するすべての意思決定を行う。副本部長は、本部長を補佐し、本部長不在時は本部長の業務を代行する。
- (2) 物的支援責任者は、日生協及び、行政等からの物資支援要請について、対応範囲、手配等の起案と推進を行う。
- (3) 人的支援責任者は、人的支援要請について、対応範囲、派遣方法、派遣期間等の起案を行う。
- (4) 各部・室は、支援本部からの指示及び、要請について可能な限りの協力を行う。
- (5) 総合事務局は、総務・管理（派遣者の所持品調達、募金管理など）、広報（対外・組合員広報ほか）、情報管理（日生協、行政関係の情報集約と発信など）を担当し全体の企画・調整起案を行う。

以 上